

目 次

第2版はしがき／初版はしがき

第 I 部 憲法的思考を身につける

第 1 章 憲法を学ぶ心構えと文章作法	3
1 憲法の到達目標	3
2 憲法を学ぶ心構え	4
3 憲法の解釈	6
4 憲法判例の学び方	8
5 不自然な言葉遣いやマイナスの文章テクニック	9
第 2 章 憲法訴訟の基礎	16
第 1 節 憲法判断の方法	16
6 憲法解釈も法的 3 段論法が基本	16
7 憲法訴訟における「原告」と元の訴訟の当事者	21
8 憲法判断（憲法裁判）の分類	22
9 合憲限定解釈と合憲拡張解釈	25
10 単なる行政訴訟と行政訴訟＋憲法訴訟	28
11 法令違憲と文面上違憲は同じか	32
12 付随的具体的違憲審査制なのに法令違憲？	35
13 合憲限定解釈と適用違憲は両立するか	36
14 猿払事件 1 審判決、堀越事件控訴審／最高裁判決から何を学ぶか	40
15 適用違憲における目的手段審査？	43
16 法令違憲と適用違憲の接点	45
17 人権侵害の個別的事情と法令違憲	48
18 処分違憲と適用違憲は同じか	49
19 意味上の一部違憲とは何か	50
20 選挙訴訟とはどのような訴訟か	52
21 いわゆる「違憲状態」判決とは何か	53
22 条例の合憲性審査	55
23 人権条約の国内的効力・裁判規範性	58

第2節 公共の福祉論・立法事実論・立法裁量論	60
24 公共の福祉論	60
25 公共の福祉と立法事実論	65
26 立法事実と目的手段審査	69
27 公共の福祉論と利益衡量論との関係	71
28 利益衡量と利益衡量論	72
29 立法裁量論とは何か	74
30 立法裁量論と最高裁の新傾向	77
31 審査基準と人権価値	78
第3節 2重の基準論と3段階審査	81
32 2重の基準論はどこから生まれてきたか	81
33 立法の不作为	85
34 立法の不作为と国賠訴訟	87
35 裁判官の審査能力と2重の基準	89
36 民主的政治過程において回復困難?	91
37 3段階審査とは何か	94
38 3段階審査と比例原則	102
第3章 人権総論における違憲判断の方法	106
39 人間の尊厳と個人の尊重——人権の価値をめぐる2つの考え方	106
40 「法人の人権」論の落とし穴	108
41 外国人の人権	110
42 人権は前国家的権利か	114
43 人権の私人間効力	117
44 私人間効力と法律の憲法適合的解釈	121
45 私人間効力と司法権	122
46 内在的制約とは何か	124
47 パターナリズムとは何か	126
48 制度的保障	128
49 安全・安心と自由	131
50 平等権	132
51 平等権違反の審査基準	139
第4章 人権各論における違憲判断の方法	145
52 厳格な審査基準と目的手段審査	145
53 在外日本人選挙権訴訟違憲判決における厳格な審査	150

54	検閲と事前抑制	152
55	明確性の基準とは何か	155
56	明確性の基準と法律の抽象性	157
57	明確性の基準と合憲限定解釈	159
58	内容規制と内容中立規制	160
59	間接的付随的規制	164
60	憲法論から見た許可制と届出制	166
61	自己実現と自己統治	167
62	公務員の政治的行為の制限と自己統治	171
63	知る権利の多義性	174
64	政府言論	177
65	政教分離訴訟と訴訟類型	180
66	政教分離原則と目的効果基準の変遷	182
67	規制目的2分論のどこが問題か	186
68	経済的自由に関する審査基準	189
69	自由権と社会権の関係〔教育の自由と教育を受ける権利〕	191
70	法律依存的権利ないし制度依存的権利と違憲審査	196
71	平和的生存権	197
第5章 違憲立法審査権の正当化根拠と民主主義		201
72	多数決民主主義と立憲民主主義	201
73	権力分立と民主主義	204
74	安全保障政策と司法権	207

第II部 事例研究で文章力を鍛える

【第1問】 法令の違憲性と憲法訴訟における救済		215
1	設問	215
2	問題の趣旨および背景	217
3	解答のポイント	217
4	解答にあたっての注意点	223
【第2問】 自動車ナンバー自動読み取りシステム（Nシステム）		226
1	設問	226
2	問題の趣旨と背景	231

3	解答のポイント	236
4	解答にあたっての注意点	238
【第3問】 法の下での平等と性差別		240
1	設問	240
2	問題の趣旨と背景	248
3	解答のポイント	253
4	解答にあたっての注意点	255
【第4問】 住民の安心・安全と条例による規制		256
1	設問	256
2	問題の趣旨および背景	265
3	解答のポイント	266
4	解答にあたっての注意点	271
【第5問】 集会の自由と公の施設		274
1	設問	274
2	問題の趣旨と背景	275
3	解答のポイント	276
4	解答にあたっての注意点	279
【第6問】 放送と放送内容の真実性		281
1	設問	281
2	問題の趣旨と背景	284
3	解答のポイント	291
4	解答にあたっての注意点	293
【第7問】 生活保護と加算措置		295
1	設問	295
2	出題の趣旨と背景	300
3	解答のポイント	301
4	解答にあたっての注意点	304

索引